

平成 23 年度 地方公共団体定員管理研究会（第 1 回） 議 事 要 旨

1. 開催日時：平成 23 年 8 月 8 日（月） 14：00～15：30
開催場所：総務省内会議室
出席委員：西村座長、赤堀委員、浅羽委員、大竹委員、原田委員、
三上委員、山崎委員

（委員は五十音順）

2. 議事経過

- (1) 委員紹介
- (2) 座長選出
- (3) 研究会の運営等について
- (4) 意見交換

3. 意見交換の概要

○「職員数等の現状・分析シート」に関する意見交換

- ・ 「普通会計職員数の状況」について、人口と面積だけの比較（定員回帰指標）で職員数の多寡を説明できるのかとの意見はあるものの、全国的に見て有意性があり、簡便で住民説明に用いやすい。普通会計職員数で比較するのか、一般行政職員数で比較するのかは議論の残るところ。
- ・ 普通会計職員数だけ記載すると職員数の削減努力が表れにくく、一般行政部門だけの記載だと教職員を含めた団体の全体像との乖離が大きく、両方を記載する意味はある。
- ・ 2つの定員管理に関する指標を記載すると住民が混乱する可能性があるため、各頂点に置く指標や数値の表し方について、必ずしも三角形にとらわれずに考慮することも必要ではないか。
- ・ 国との給与水準比較であるラスパイレス指数をシートに記載することの意味に対する疑問や、他の指標とのバランスを指摘する意見もあるが、人件費論で職員数が議論されている中では、団体が使い慣れている既存の指標としてラスパイレス指数により比較することも一理あると感じる。
- ・ 市町村としては、ラスパイレス指数の値でも、国との比較より、県や近隣市町村との比較で求められる場合があるので、そういったブロックでの比較も考慮してよいのではないか。
- ・ 本シートに記載されている三角形の面積は、具体的に職員数の多寡を示す「数値」ではなく、多寡を視覚的に捉える「イメージ」であるという説明が必要ではないか。
- ・ 本シートは、各指標の値が「100」になることが正しい姿ではなく、団体の多様性を失わせるためのシートでもない。各団体が職員数の公表し、基準値との差を説明するためのシートである。

- ・ 昨年度の議論では、既に使われており、使い慣れている指標を使うことで分かりやすいシートになるよう三角形のシートとされた。今後とも引き続き、様々な意見を踏まえながら、より分かりやすいシートを目指すことが肝要である。